

第 44 回京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日 時 令和 3 年 5 月 7 日（金）午後 6 時 20 分から午後 6 時 35 分まで
- 2 場 所 京都府職員福利厚生センター会議室
- 3 出席者 知事、山下副知事、古川副知事、舟本副知事、企画理事兼商工労働観光部長、危機管理監、知事室長、職員長、総務部長、文化スポーツ部長、健康福祉部長、京都府議会事務局長、教育長、警察本部長、山城広域振興局長、南丹広域振興局長、中丹広域振興局長、丹後広域振興局長、京都府新型コロナウイルス感染症対策専門家会議議長及び京都市危機管理監

4 議事録

【危機管理監】

- ・ ただいまから、京都府新型コロナウイルス感染症対策本部会議を開催させていただきます。
- ・ 本日は、国の対策本部会議の決定等を踏まえまして、今後の対応について御協議いただくこととしてしています。
- ・ それでは西脇知事、議会の進行をよろしくお願いいたします。

【知 事】

- ・ この間、昼夜を分かたず、医療現場の第一線で御奮闘いただいております医療従事者の皆様に心から感謝を申し上げたいと思います。
- ・ また、緊急事態宣言中、外出の自粛、営業休止、営業時間短縮の要請等、府民、事業者の皆様に大きな負担をおかけしていますが、そのことに対しての多大なる御協力、御理解にも心から感謝を申し上げたいと思っております。
- ・ 新規感染者数については、高止まりの状況で、本日の新規の陽性者数は 146 人、7 日間平均では 132.14 人、直近一週間の比較で申し上げますと 0.97 倍です。
- ・ ゴールデンウィーク中の医療検査体制への影響がどこまであるかということも含めて、予断を許さない状況が続いていると認識しています。
- ・ この間、緊急事態措置を実施してきましたが、先ほど、国の対策本部会議が開催され、京都府、大阪府、兵庫県、東京都の緊急事態措置の実施する期間の延長、また、新たに愛知県と福岡県が緊急事態措置を実施すべき区域として決定されました。
- ・ 昨日、専門家会議を開催して、その御意見も踏まえ、要請をしましたが、本日は緊急事態措置について、御助言をお願いしたいと思います。
- ・ まずは最近の感染状況について、健康福祉部長から御報告をお願いします。

【健康福祉部長】

※資料 1 に基づき報告

【知 事】

- ・ 続きまして、京都府における緊急事態措置について、危機管理監から事務局案の説明をお願いします。

【危機管理監】

※資料 2、3 に基づき説明

【知 事】

- ・ それでは、今までの報告について、松井議長からお願いします。

【専門家会議議長】

- ・ 今回はイベントの開催や大型商業施設等の営業が一部再開されるということで、少し緩んだような印象になりますが、これをどう捉えるかということが一番大事だと思っています。
- ・ 現状のままで、活動が再開されると、人の流れが増えて、感染の機会が増します。
- ・ そうならないために、人との接触があるときにも、感染しないための行動をぜひお願いしなければなりません。
- ・ 医療の現場は重症者、あるいは、中等症者という治療が必要な人の数がまだまだ増加している状況です。
- ・ この感染者を減らすために、一步踏み出した取り組みが必要であります。
- ・ 一人一人が感染拡大を防ぐ取り組みと、その実践をよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

【知 事】

- ・ 感染者数の増加が入院、療養患者の方の数に繋がって、それが、重症患者の増加に繋がります。
- ・ まずは、医療崩壊を起こさないためにも、新規の陽性者を抑えていくことが重要で、まさにその正念場だと認識しています。
- ・ 今回、緊急事態措置を延長するという事なので、引き続きの府民の皆様、事業者の皆様の協力をお願いしたいと思っております。
- ・ 次に、京都市の三科危機管理監から、御意見をよろしくお願ひします。

【京都市危機管理監】

- ・ 変異株の影響も含め、感染者が非常に高止まりしていること、また、感染者の年齢幅も幅広くなっていることを受けて、京都市の保健所では、PCR 検査あるいは健康観察の対象拡大も含めて、疫学調査をさらに強化していきたいと考えております。
- ・ また、飲食店への要請が長期にわたってきておりますので、引き続き協力いただきますように周知、協力を力を注ぎたいと思っております。
- ・ また、路上見回りについても、京都府と一緒に連携を密にしていきたいと思っております。
- ・ なお、京都市では、公の施設、また主催イベント等についても、休業、休止していきたいと考えております。以上でございます。

【知 事】

- ・ 特に感染リスクが高いと言われている飲食店等に対する営業時間短縮の要請については、かなり長い期間にわたっており、非常に大変な御負担をおかけしていますが、なんとか御協力いただくためにも、府市協調で、見回り、啓発活動等を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。
- ・ 他に御意見等がなければ、この事務局案によって、緊急事態措置を決定することとします。
- ・ その他、各部局から御報告がなければ、本日の会議の総括を申し上げます。
- ・ 冒頭も申し上げましたが、府内の感染状況は、依然高止まりとなっております。
- ・ 緊急事態措置の効果が変異株の感染率の高さと拮抗する形で、なかなか高止まりの状況が続いていますが、これを減少に転じさせ、府内の医療提供体制を守ることが非常に重要であると考えておりますので、これから申し上げる2点について、関係部局におかれては、万全の体制で臨んでいただきたいと思ひます。
- ・ 1点目は、ただいま決定しました緊急事態措置は5月12日から実施されますが、基本的対処方針もどんどん複雑になっているうえ、それぞれの都道府県判断による措置も加わることで、どうしても分かりにくさがつきまとっています。
- ・ まずはこの措置を確実に実施してもらうためにも、府民、事業者の皆様はもちろんですが、市町村、関係団体の皆様に対して、丁寧に広報することにより、確実な実施を要請していくということが非常に重要ですので、それをお願いしたいと思っております。
- ・ 2点目は、府内の感染状況の高止まり、隣接の大阪府、兵庫県の感染状況も、引き続き非常に厳しい状況が続いております。
- ・ 一体の生活圏、経済圏を形成する京都もまだまだ予断を許さない状況ですので、病床の確保や確保している病床の効率的、効果的な運用といった医療提供体制のさらなる拡充、感染防止の決め手となりますワクチン接種の円滑かつ確実な実施について、早急に対応を進めていただくようお願いします。
- ・ 緊急事態措置が延長されることで、府民の皆様、事業者の皆様には引き続き多大な御負担をおかけすることになり、大変心苦しく思っておりますが、今の感染状況を乗り切って、感染の波を抑え、医療提供体制が万全になるよう、京都府、医師会、京都市をはじめ、全ての関係の皆様と連携をして、対策は万全を期したいと思っておりますので、関係の部局におかれても、緊張感を持っていただきたいと思ひます。
- ・ 私からは以上です。よろしくお願ひいたします。

【危機管理監】

- ・ 関係の部局長におかれては、先ほどの指示事項を踏まえ、万全の取り組みをお願いいたします。
- ・ 松井議長、三科危機管理監におかれては、御出席をいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ 以上をもちまして、対策本部会議を終了いたします。